

富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合
衛生管理センター運営管理業務委託に係るプロポーザル審査委員会
審査基準

富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合衛生管理センター運営管理業務委託に係るプロポーザル審査委員会（以下「委員会」という。）において、以下のとおり審査基準に基づいて審査を行い、総合的に最も優れた事業者を受託候補者とする。

1 審査方法

委員会は、提案者から提出された提案書、プレゼンテーション内容等を参考に審査を行うものとする。

2 審査日程

(1) 日時 令和5年11月下旬

(2) 会場 富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合事務局（衛生管理センター） 2階会議室

(3) 時間 プレゼンテーション20分以内、質疑応答10分程度（各提案者）

3 評価方法

「5 評価基準」により、審査項目毎に配点内の範囲で採点し、満点を100点とする。

4 事業者選定

- (1) 提案に対する評価の得点化については、委員全員の合議にて決定した評価を各項目の配点に乗ずる「合議採点方式」か、各委員が個別に評価を行い、配点に乗じた点数を委員数で除算する「個別採点方式」のいずれかとし、委員会で決定する。
- (2) 「5 評価基準」の評価項目及び評価内容に基づき、非価格要素点と価格要素点を合算して提案者ごとに点数評価を行う。
- (3) 満点（100点）の6割を最低基準点とし、最低基準点に満たない提案者は選外とする。
- (4) 評価点が最も高い提案者を受託候補者とする。ただし、評価点が同点の場合は、価格提案書の金額が低い者を受託候補者とする。
- (5) 提案者が1者のみの場合でも審査を行い、評価点が最低基準点を満たすときは、当該提案者を受託候補者とする。
- (6) 評価点数が満点の過半数に満たない場合や、価格が提案限度額を超過した場合は、審査の対象外とする。

5 評価基準

(1) 非価格要素の評価項目及び評価内容

評価項目		評価内容	配点
(1) 実施方針、体制等	①業務の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務における保守管理思想 ・業務毎の基本方針 ・SDGs、脱炭素を考慮した業務の実施 ・本業務に対する会社としての支援内容 	6
	②組織体制及び人員配置計画	<ul style="list-style-type: none"> ・安全確実な業務遂行体制（人員配置、勤務体制） ・総括責任者、副責任者の経歴等 ・有資格者の配置及び人数 	6
	③維持管理実績	<ul style="list-style-type: none"> ・過去10年間に於ける汚泥再生処理センター又はし尿処理施設の管理実績数 ・標準脱窒素処理方式による管理実績数 	6
(2) 運転管理	①運転操作監視業務	<ul style="list-style-type: none"> ・運転操作監視体制及び手法 ・効率的で安全な運転 	6
	②水質、汚泥管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・水質管理体制及び手法 ・処理の状況変化の発見及び対応 	6
	③物品等管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・安定的で効率的な物品等調達方法 ・調達物品の管理、使用計画 	4
(3) 保守管理	①保守点検業務	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的で安全な点検計画（故障、異常の早期発見に結び付く点検） ・保全計画策定に結び付く点検及び書類の作成 	6
	②施設管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生、美観保持や保安等の実施方針や実施計画 	4
	③補修修繕業務	<ul style="list-style-type: none"> ・補修修繕の考え方（点検と補修修繕による施設の延命化等）及び体制 ・効率的な補修修繕計画立案手法 ・本業務で実施する受託者自らが修繕する補修修繕内容（仕様書に記載の項目以外） 	6
(4) 緊急時対応	①災害時、緊急時等への対策及び対応	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時、異常時等における対応の考え方、体制、手順 ・緊急時における職員の参集計画 	4
	②機器等の故障対応	<ul style="list-style-type: none"> ・突発故障の緊急対応 ・機器の故障等における処理への影響対応 	4
	③事故発生時の想定訓練等	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理に備えた日常の教育訓練等 ・防犯対策 	2
(5) その他	①地域への精通性、地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業及び人材の活用方針、地元雇用 ・ボランティア活動等地域への貢献 ・施設見学時の現場の説明 	2
	②費用平準化、コスト縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ、省資源計画 ・コスト縮減等の提案 ・費用平準化、社会的な変動リスクへの対応策 	4
	③バックアップ体制	<ul style="list-style-type: none"> ・本社等からのバックアップの有無 	4
合 計			70

(2) 非価格要素の評価方法について

非価格要素の配点は70点とする。提案書の審査結果やヒアリングの実施を踏まえ、各評価項目を下記に示す5段階による評価で点数化し、合算して非価格要素点とする。

評価段階	評価基準	採点の算出方法
A	高い効果が期待できる	項目ごとの配点×100%
B	効果が期待できる	項目ごとの配点×75%
C	普通	項目ごとの配点×50%
D	やや不安な点がある	項目ごとの配点×25%
E	不安がある	項目ごとの配点×0%

(3) 価格要素の評価方法について

価格要素の配点は30点とし、以下の算式に基づいて点数化する。なお、得点は小数点第4位を四捨五入した値とする。

$$\text{価格点} = \{(\text{最低提案価格})^{※1} \div (\text{提案価格})\} \times 30 \text{点}$$

※1 提案価格のうち、最も低い価格